

2020 SL KARTMEETING Festika MIZUNAMI SERIES

ドライバーズブリーフィング通知



開催サーキット：フェスティカサーキット瑞浪

JAF格式；クローズド

2020.9.25

必ずお読みください

- 1、ピット、パドック内は火気厳禁です。火器類の取り扱い注意事項を無視したドライバーやピットクルー（登録メカニック）は、当該レース失格となり参加を取り消される場合がありますのでご注意ください。
注）ピットエリアは、登録したメカニック、ピットクルーのみ立ち入りが可能であり、
競技のサポートに入る前にアナウンスにて入場をコントロールします。
- 2、エンジンの始動チェックはダミーグリッドでのみ行えます。
エンジンの暖気場所もダミーグリッドとし、進行長の指示によってエンジンがかけられます。
※エンジン暖気に関する違反は、ペナルティの対象となります。
- 3、工具を使ったメカニカル作業はピットエリアでのみ行えます。指定外のエリアで作業するとペナルティとなります。赤旗中断後の作業は、競技委員からの指示が出たあと、ピットエリアで作業できます。
また、ドライバーに出すピットサインは、ピットサインエリアでのみ出すことができます。
ピットサインエリア外で、サインを提示したり、ドライバーに指示をするとペナルティとなります。
- 4、FS-125 (X30) クラスはタイヤフリーとなり、公式練習中のタイヤ交換は認められます。
注1) SLクラスやKTマスターズクラスは、公式練習から指定メーカータイヤの使用となります。
登録タイヤメーカー内（ドライ、ウエット）での交換は認められます。
注2) 公式練習とタイムトライアルを連動して行う場合、公式練習が終了した時点で、メインポストから計測中のボードが提示され、タイムトライアルに移行します。
タイムトライアルは指定タイヤのみとなり、修了後車検場で封印されます。
またピットエリアでヒートを終了した場合、必ず車検場経由でパドックに戻ってください。
- 5、コース上では必ずドライバーサインを出し、周りのカートにアピールするようマナーの徹底をお願いします。
※エントラントおよび、チーム関係者の方もドライバーへの指導にご協力ください。
- 6、ピットエリア走行は徐行厳守で、ピットエリアスルーは禁止です。スルー走行の場合ペナルティとなります。
- 7、コースアウトまたは接触等によって、走行中だったコースとは違った箇所へ飛び出してしまった場合、安全確認後、元いた場所に一番近いと思われるコース箇所から再スタートしてください。
※走行不能の場合、車両を安全な場所に移動し、ドライバーは競技委員の誘導で迅速退避してください。
またピットエリアでヒートを終了した場合、必ず車検場経由でパドックに戻ってください。
- 8、公式練習、TT、予選、（プレファイナルやセカンドチャンス含む）はダミーグリッドからのスタートです。
ファイナルヒートのみコース上からスタートとなり、コース上もダミーグリッド扱いになります！
- 9、タイムトライアル開始後は、ピットエリアに入ることはできません。
- 10、公式練習やタイムトライアル開始後、位置取りのための複数の車線変更やレコードラインでの低速走行、TTアタック中の車両妨害にあたる行為はペナルティの対象となります。また、後方のカートにラインを譲る場合は、レコードラインを開け、手で追い抜く側をしっかりと示すドライバーサインを必ず出すようにしてください。

- 11、予選ヒート、ファイナルのコースイン後は、1周のウォームアップ走行を導入します。
ウォームアップ走行終了後、2列の隊列を迅速に整え、グリッド順にて走行してください。
ローリングペースが速い場合はDOWNボード提示、良い場合はKEEPボードを提示します。
先頭グループは、アドバンテージがあるものの、隊列のスピードを調整する義務があります。
隊列を大きく乱したり、隣のカートと接触するような悪質な行為の場合は、積極的に白黒旗が提示されたり、ポジション降格（1～10ポジションダウン）やタイム加算等のペナルティが入ります。
- 12、ローリング中のポジション復帰禁止区間は、第⑪コーナー進入手前のコース両サイドに設置されたパイロンを結んだ赤い線上を通過した箇所から、25Mラインまでです。
隊列を引っ張る先頭グループは、7コーナー通過後「通称；たこつぼコーナー」立ち上がり付近でペースを落としながら隊列を整えるべくローリングスピードを調整し、2列の隊列を形成するようにしてください。ローリングスピードの調整はオフィシャルから指示が出ます。
また、隊列から大きく遅れた車両には、白地に赤バツテンのボードが提示される場合があります。
提示されたカートは隊列に近づいたとしても、最後尾についてのスタートとなります。
※ミススタートになった場合でも、ポジションの復帰は出来ません
- 13、ローリングスタート後、第⑪コーナー進入手前のコース両サイドに設置されたパイロンに隊列の先頭集団が差しかかった時点で、ピットからのスタートはできません。
- 14、ローリング途中で自分のグリッドに戻れない車両がいた場合でも、競技委員の判断でそのままスタートを切る場合があります。また、グリッドが著しく乱れていた場合は、さらにもう1周の合図が出て、再度ローリングが継続されます。その場合、正しいグリッドから外れていた車両は正規の位置に戻る権利が再度発生します。但し、ポジション復帰禁止区間では戻れません。 ※ドライバーサインは必ず出してください！
- 15、全クラス、ローリングの隊列が25Mラインを越えて、スタート合図（シグナルのブラックアウト）が出た後であれば、隊列は2列の誘導白線をまたいだり、追い抜きをかけてもペナルティにはなりません、スタート合図前に車線変更や追い抜きをした場合、スタート隊列違反ペナルティ等が入ります。
- 16、隊列に出すスタート合図は、コース右側信号の赤点灯から消灯（ブラックアウト）になった瞬間といたします。赤信号が消えない場合は再ローリングとなり、メインポストからもう1周の合図を提示いたします。
※スタートが切られた場合は、メインポストからピットエリアに知らせるため日章旗を振ります。
- 17、スタート合図の際、ドライバー本人のミスで遅れてもミススタートとはせず、レースが続行されます。悪質なポジション取りや隊列を乱す行為には、白黒旗が出て警告をします。繰り返すとペナルティとなり、グリッド降格、成績にタイム加算や最後尾スタートとなります。
- 18、雨天時、雨の量が多く、2列でのスタートが危険と判断された場合、グリッド表の隊列ではなく、1位を先頭に1列のフォーメーションでローリングを行います。※この場合、ホームストレート中央付近を走行し、誘導白線は使用しません。ブラックアウトまでは追い越しは出来ず、コントロールラインを越えてから追い抜きが可能となります。安全を考慮し進行しますので、周回数減やイエローコーションでレース終了などもあります。
- 19、競技中、吸排気系の部品にトラブルが発生した場合、基本的にはレースを終了しなくてはなりません。但し、後方に危険がおよびそうな場合に限っては、オレンジボール旗によって、ピットインを指示する場合があります。この場合、ピット作業エリアで修復すればレースに復帰が可能です。
- 20、競技中にコースオフィシャルが緊急の事態やトラブル車両の確認などでポストから若干移動する場合があります。その場合、黄色の信号灯が点滅します。その信号灯から対象車両までイエロー区間となりますので、イエローフラッグ同様の対処をしてください。
また、走行中の多重クラッシュや大きなアクシデント発生時、ドライバーの意思に関係なく救済に入ることがあります。その場合、状況によってはレースに戻ることができます。
オフィシャルが救済したから、即リタイヤという判断にはならない場合があります。

- 21、競技中のコース内障害物やドライバー、競技委員に緊急な健康被害あった場合、赤旗中断の判断まではいかないとジャッジしたとき、競技中の車両全車に対しイエローコーション（ニュートラリゼーション）の指示が出されます。特別通知となっており瑞浪特別規則書には記載されていません。
詳細に関しては、イエローコーションのご案内に記載してあります。
※路面状況によって、赤旗後の競技再スタート方式が、ニュートラリゼーション方式となる場合があります。
- 22、赤旗時、緊急を要する負傷者がいる場合、その措置が優先となります。※場合によっては競技が中止されます。
- 23、各ヒート終了後、各車両はピットイン後車検場にて検査を受けてください。
レース途中でリタイアしていた参加者は車検を受けることが望ましいですが、車検を受けなかった場合、当該ヒート未車検扱いとなり失格となります。また、部品やその他の装備違反等が、前の車検でクリアしていても、最終ヒート走行後に不備が発覚した場合は当該ヒート失格（NG）となります。
- 24、競技会中の違反に関するペナルティは下記と通りとします。 ※一例です
- (1) 悪質なプッシング、幅寄せ、その他の危険走行の場合 ⇒ 警告ボードや白黒旗（累積2回で黒旗）
 - (2) ペナルティカタログの対象行為などをした場合 ⇒ 競技役員で審議後、ペナルティ
 - (3) フラッグ無視、車両違反、装備不具合などをした場合 ⇒ ペナルティやヒート失格（NG）
 - (4) スポーツマンシップに反した行為や軽度な規則違反をした場合 ⇒ 警告やペナルティ
暴力行為、威圧、威嚇行為、誹謗中傷や侮辱等（現場やSNS含む）、悪質な場合は失格（NG）
- 25、レース終了後、車検場にて計測装置（レンタルポンドー）を回収しますので、取り外しをお願いします。
- 26、上位入賞カート、車検委員長が指定したカートは車両保管を受け、エンジンなどのオープン検査を行います。
車両検査は各メカニック立会の元実施、終了するまでカートはパドックに戻れません。
- 27、競技の詳細規定、注意事項は、2020 瑞浪 SL 特別規則書を必ずご確認ください。※公式通知含む
- 28、リタイアの場合、所定の「リタイア届」にエントラント・ドライバーの署名をし、大会事務局に提出ください。
- 29、参加者はレース終了後の表彰式に参加し、終了後はピットパドックの片付け、清掃をお願いいたします。